

令和3年度 社会福祉法人丹穂会 事業計画

はじめに

近年、福祉施設における『働き手不足』は益々深刻化してきています。労働基準法の改正や福祉・介護職員特定処遇改善加算の考え方にに基づき、就業規則及び給与規程の見直しを行ってきましたが、今後も更に労働環境の向上を図るため、外部見識者を交えた検討会を継続し、職員が生き生きと働くことができ、福祉の仕事の魅力を発信できるような施設づくりに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行や大規模自然災害など、今後も多くの危機的状況が想定されます。防災対策・感染症防止対策の再確認と、定期的な教育・訓練の実施を徹底し、不測の事態にあってもサービス提供が継続できるよう体制強化に努めます。

① 障害者支援施設「緑ヶ丘学園」

利用者の年齢層の広がりにより、心身機能・活動能力の個人差が大きく見られる現状、利用者個々の状況を適切に把握し、支援計画の作成・実施・評価を実践する体制の強化に努めていく。また、利用者ひとりひとりが社会の一員として生活しているということを念頭に置き、地域社会との連携を図り、できる限り社会参加の機会を持てるよう努めていく。

② 特別養護老人ホーム「福寿荘」

少子高齢化や社会的環境が多様化する中、高齢者介護のセーフティーネットとしての機能を果たしていくことを目標とする。単身世帯の増加や生活困窮世帯、8050問題など要介護高齢者を取り巻く課題に目を向け、関係相談機関と連携を図りながら、地域における世帯ぐるみの見守り機能を構築していく。

1 事業の経営

第一種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設 緑ヶ丘学園 生活介護（60人） 施設入所支援（50人）
- (2) 特別養護老人ホーム 福寿荘（50人）

第二種社会福祉事業

- (1) 緑ヶ丘学園短期入所事業（5人）
- (2) 特定相談支援事業所みどり
- (3) 福寿荘短期入所生活介護事業（20人）
- (4) 福寿荘通所介護事業（25人）日常生活支援総合事業通所型事業（10人）

公益事業

- (1) 緑ヶ丘学園日中一時支援事業（10人）
- (2) 福寿荘居宅介護支援事業

2 理事会・評議員会の開催計画

・理事会

5月 第1回理事会(令和2年度事業・決算報告、役員・評議員候補者の推薦 等)

6月 第2回理事会(理事長の互選 等)

11月 第3回理事会(令和3年度資金収支補正予算 等)

3月 第4回理事会(令和4年度事業計画、令和3年度当初予算 等)

・評議員会

6月 定時評議員会(令和元年度事業・決算報告、理事・監事の選任 等)

3 人材確保

- ・現任職員の定着及びキャリアアップを目指すためにも新たな人材の確保は必至。
- ・給与体系、勤務体系、新採用時研修、資格取得のための支援など見える化を図る。
- ・正規雇用を推進しながら、多様な働き方により子育て世代や高齢者の働き手を確保する。
- ・ハローワーク、福祉人材バンクのほか、民間の求人媒体の利用、学校訪問 等。
- ・企業・職場説明会、就職面談会等に積極的に参加する。

4 施設整備など

- ・緑ヶ丘学園 改築後15年目となり経年劣化や不具合箇所について、利用者の生活環境の改善を考慮しながら、大規模修繕工事を計画的に実施。
- ・福寿荘 移転改築に関する協議

5 施設整備資金借入金の償還

- ・借入先 : 独立行政法人福祉医療機構
- ・借入理由 : 緑ヶ丘学園移転移築に伴う諸経費等
- ・借入金額 : 204,700,000 円
- ・令和3年度償還額(16回目) : 元金 10,230,000 円
利息 690,525 円